



はとぐみだより「あき」

チャリティー第一保育園
令和7年12月発行

3期(9~11月)の目標

- 保育教諭等の手助けが徐々に減り、生活しやすいように簡単な身の回りのことは自ら整えることができる。
- 秋の自然に興味・関心を持つ。

簡単な、身の回りのことは自分で出来るようになってきました。保育者も手を掛けることなく言葉で伝え、言葉を理解して自らやろうとします。しかし、出来ない時もあるので困った時には「やってちょうだい」と気持ちを言葉にして伝えるのは練習中です。



以上児さんの行事を見学することが多いはと組さん。かなりや組への進級が緩やかになるように今から少しずつ以上児さんの行事に触れています。

わくわく活動の様子

わくわく活動のテーマ「雨と水・花と葉・鳥・虫・雪」の中から今回は「雨と水」→雨水、「花と葉」→花、落ち葉、「虫」→秋の虫の観察、の保育風景をご紹介します。

園庭の花を見つけてお友だちや保育者に発信し、情報を共有しようとする姿が見られてきました。一緒に遊んでいるひばりさんにも「見て！」「におい、嗅いでみて」などと言葉にして伝えていました。



「雨水」が目で見えてわかるようにテラスの軒下にバケツを置きました。「あれ？どうして水が入っているんだろう」と声を掛けてから「雨水」への興味関心が広がりました！



...跳びそう



触ってみたいな...

園庭にいる秋の虫はトンボやバッタ。園外に散歩に出かけた時に捕まえた虫を園庭で放すと次の日はコオロギやカマキリなども見かけます。草を歩くとピョンピョンと跳んで虫の居場所がわかります。虫を追いかけて捕まえようとする、必死な姿がとても可愛いです♡



虫いるよ、見てごらん

手の中に虫いるの？

春や夏とは違う「枯れ葉」を見つけ、最終的にはラミネートを掛けてお部屋に飾りました。飾ることによってすずめさんやひばりさんとも共有することができ、そこから会話が生まれたり広がったりしました。



濡れていても遊びたい気持ちがあり「遊んでもいい？」と聞く子ども達。濡れるのを承知で遊びました。

はとさんは、外を歩く時のルールを守ることができるので散歩車には乗らずに保育者と手を繋いで歩いて移動をします。

外を歩く時のルールとは...手を離さないで歩く、先生より先(前)に行かない。

握力、脚力がついてきて、少しの時間ばら下がることも出来るようになってきました。

